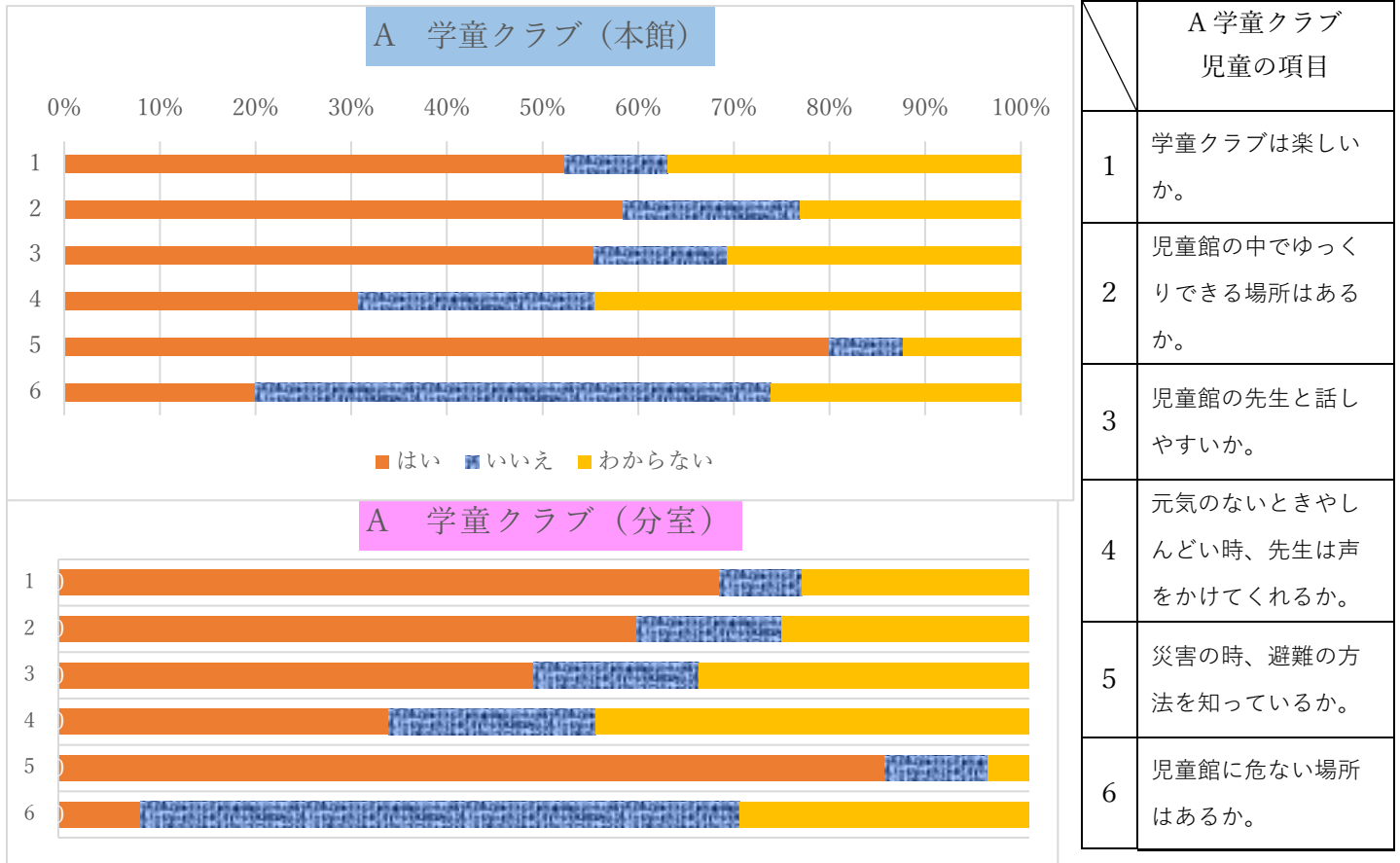


令和3年度 京都市室町児童館評価～アンケートの結果から（10月実施）



A 学童クラブ 児童の項目	
1	学童クラブは楽しいか。
2	児童館の中でゆっくりできる場所はあるか。
3	児童館の先生と話しやすいか。
4	元気がないときやしんどい時、先生は声をかけてくれるか。
5	災害の時、避難の方法を知っているか。
6	児童館に危ない場所はあるか。

B 学童クラブ保護者の項目		C 乳幼児クラブ保護者の項目	
1	子どもは楽しく通っているか。	4	開始の際、説明はあったか。
2	取組は楽しいか。	5	環境、雰囲気は好ましいか。
3	自立につながる取組か。	6	職員の対応は好ましいか。
4	環境、雰囲気は好ましいか。	7	職員は話しやすい雰囲気か。
5	開始の際、説明はあったか。	8	避難の説明や掲示板はあるか。
6	職員の対応は好ましいか。	9	衛生面の配慮はなされているか。
7	職員は話しやすい雰囲気か。	10	安全面の配慮はなされているか。
8	おやつの内容・量は適切か。	11	プライバシーの配慮はなされているか。
9	おやつ代や諸費は適切か。	12	設備は整っているか。
10	おたよりはわかりやすいか。	13	遊具、おもちゃ、絵本に満足か。
11	取り入れてほしい取組はあるか。	14	たよりやHPは見ているか。
12	緊急時連絡体制は整っているか。	15	掲示や行事内容はわかりやすいか。
13	衛生面の配慮はなされているか。	16	実施してほしい取組等はあるか。
14	安全面の配慮はなされているか。	17	保護者同士の繋がりは生まれたか。
15	プライバシーの配慮はなされているか。	18	地域との連携はとれているか。
16	障害のある子どもへの配慮はなされているか。	1.サービスの目的 2.児童館を知ったきっかけ 3.利用頻度	
17	地域との連携はとれているか。		

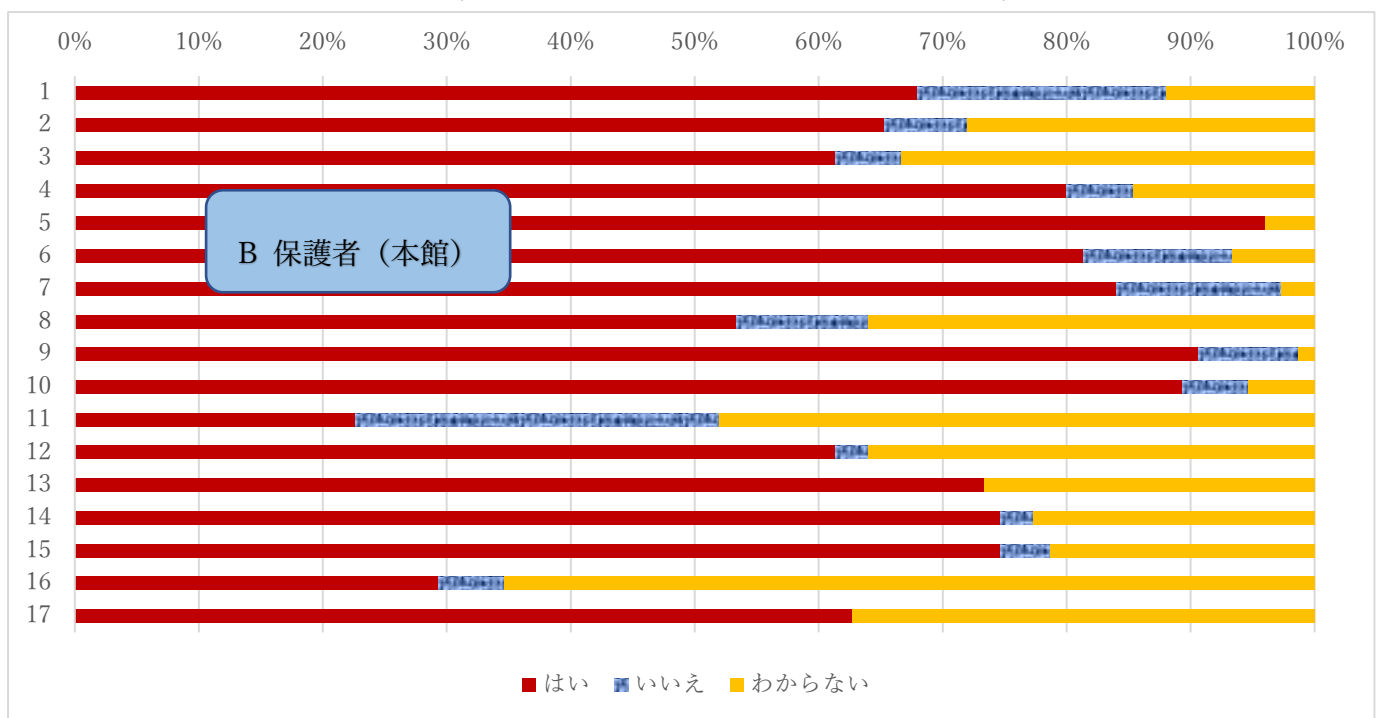
### 1. 室町児童館の今年度の活動の概要

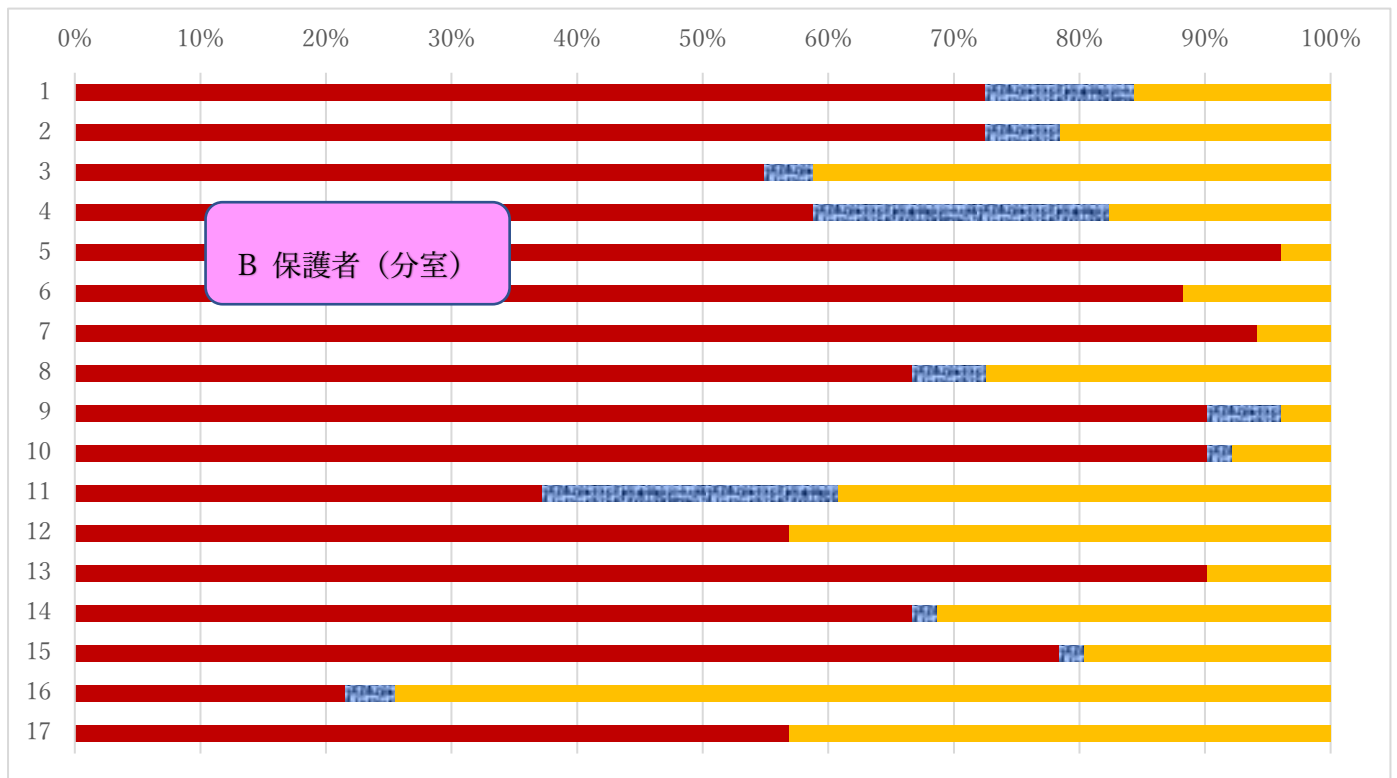
- ・今年度もコロナ禍の影響で「緊急事態宣言」となったが児童館は休館をせず、就労支援として学童クラブ事業は継続した。
- ・学童クラブ児童数は年々増え、本日(11月11日)現在本館119名・新町分室97名の計216名となった。
- ・手洗い、うがい、検温、アルコールによる手指消毒、マスクの着用等を徹底し、おやつの中には1m以上の距離を確保しつつ黙食を徹底した。
- ・遊びも一人遊び・二人遊びが中心で、対面の場合はフェイスシールド越しに遊んだ。
- ・長期休業中は、校庭や御所で体を動かす遊びを行った。
- ・「緊急事態宣言」が解除されてからは児童館事業（乳幼児親子や一般児童の自由来館）も復活し、コロナ対策を心掛けつつ徐々に従来の活動を始めている。
- ・今年度の保護者アンケートは、PCでもスマホでも答えていただけるようにしたため、回答率が70.8%と非常に上がった。

### 2. A 学童クラブ児童の実態（本館65名・分室47名 計112名回答）

- ・子ども達の自由記述には、体を動かす遊びがしたいという意見が多く、コロナ禍が学童クラブの「楽しさ」に影響していることは否めないが、更に工夫をしていきたい。
- ・項目3・4の先生と話しやすい・声掛けをしてくれる、に「いいえ」と答えた子が15~23%もいたことは大きな課題である。一緒に遊ぶ中でどの子にも声掛けをし、子ども理解を深めていきたい。
- ・項目5では、本館では学校に逃れることができる「避難扉」を新たに作り、よりスムーズに避難できるようになった。分室では「避難袋」を使って3階から非難する訓練を継続している。
- ・夏休みに、本館・分室共同でドッジボールを楽しんだ。今後とも、同じ「ゆめのこクラブ」として交流を深めていきたい。

### 3. B 学童クラブ保護者の実態（本館75名・分室51名 計126名回答）





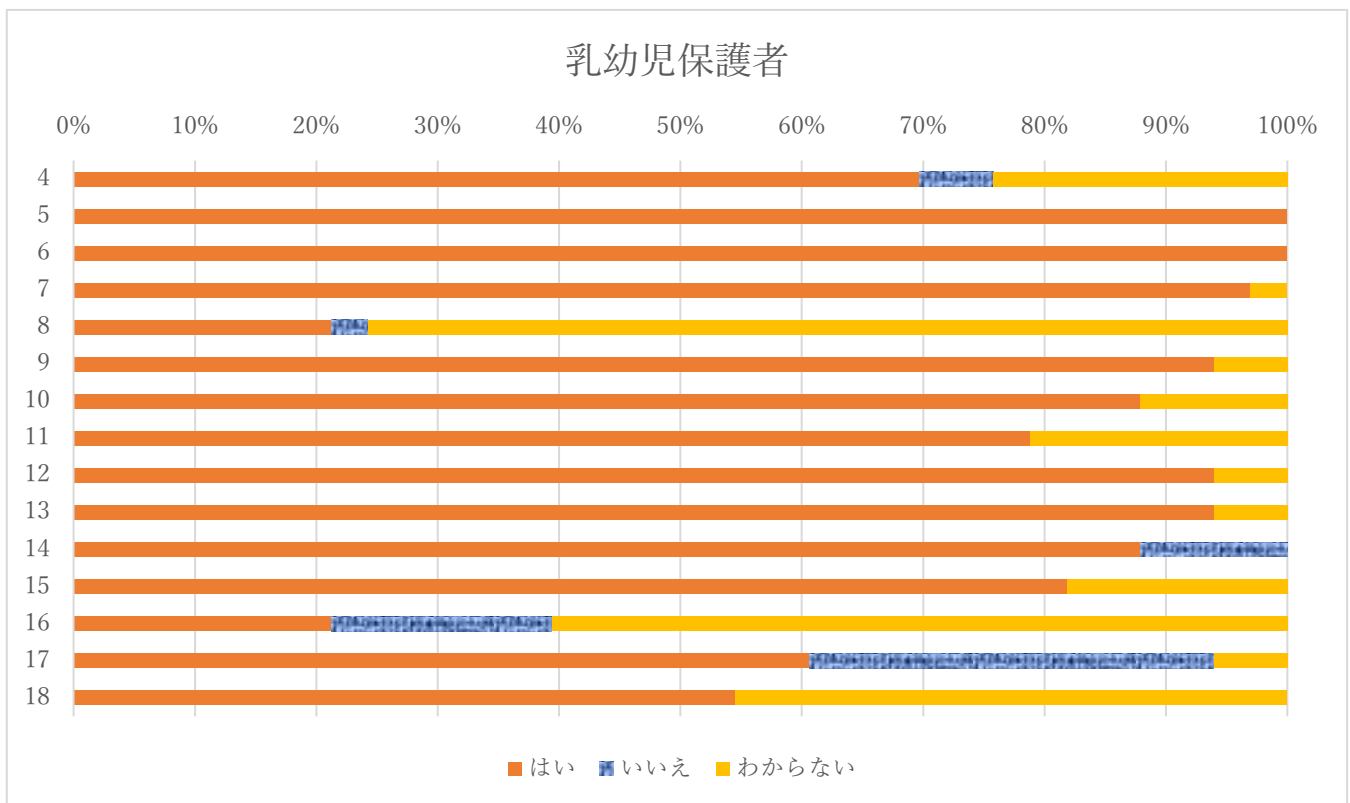
・項目1子どもは楽しく通っているか、の問いに「はい」が約70%、「いいえ」が約17%だった。「いつもありがとうございます。先生方が温かく迎え入れて下さるので、児童館に行きたくない!と言ったことはありません。働く親にとって、それが1番ありがたいです。」というお言葉の他、「もう少し対応を優しくしてほしいです。」「コロナ下でも子どものために工夫をしてほしい。」というご指摘もあった。全職員で共有して改善していきたい。

・項目11の取り入れてほしい取組では、圧倒的に「外遊び」が多かった。時間的にも立地的にも長期休業中以外は難しいかもしれないが、コロナ禍の収束と共に体を動かす遊びも取り入れていこうと考えている。

・分室の自由記述で、「商業ビルの最上階で、狭い階段一つしかない環境で、多くの子供たちが過ごさなくてはいけない点は、安全面で大変不安に感じています。」というご意見を頂いた。階段にすべり止めをつけたり、センサー付きのライトをつけたりして対応しているが、今後とも行政に現状を訴え続けていきたい。

・その他、「はい」の回答が少なかった項目については、個別にご意見も頂戴しながら改善していきたいと考えている。

#### 4. C 乳幼児親子の実態 (33 名回答)



- ・室町学区 (11 名)・紫明 (7 名)・新町 (6 名)・西陣中央 (4 名)・京極 (2 名) の他、下鴨・正親・松ヶ崎からも来館していただいている。
- ・利用目的は、全員が「乳幼児親子活動」であった。
- ・児童館を知ったきっかけは、児童館だより (12 名)・知人の紹介 (9 名)・ホームページ (8 名)・その他 (「ぱたぽん」や通りがかり) (7 名) であった。
- ・利用頻度は、週に 1 度 (19 名)・初めて (5 名)・週 2 回以上、月 1 回 (各 2 名)・年 1 回、年 2 回以上 (各 1 名) であった。
- ・項目 4 の児童館の理念の説明については、乳幼児クラブの開始式の時に行ったが、目に見える形で掲示しておきたい。
- ・項目 8 の避難経路については、乳幼児クラブの時にも避難訓練をして周知したい。
- ・項目 17 の保護者同士のつながりについては、コロナ禍が収束したら昼食を一緒に取りながらいろいろな話をして、仲間づくりに取り組んでいきたい。
- ・項目 16 の実施してほしい取組には、身体の使い方(足育)・食育・感触あそび・リズムあそび・人形劇の鑑賞などが挙げられていた。支援ステーション事業などを利用して、実施していきたい。
- ・「以前はよく利用していましたが、引っ越したのでたまにしか行けなくなりました。子どもがこの児童館が大好きで、とても楽しみに来ています。」という、うれしい感想もいただいた。

※以上のご意見を参考に、改善できるところはすぐにでも改善し、「子ども達の健全育成」・「子育て支援」・「共生のまちづくり」という児童館の 3 大目標に向かっていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。